



環境学習

ニュース News

発行：茅ヶ崎市環境部環境政策課

電話：0467-81-7176

この環境学習ニュースは、子どもたちの環境意識の向上に向けて、学校教員の方々に役立てていただくことを目的に発行しています。右記の二次元バーコードからオンラインでもご覧いただけます。



ちがさき環境フェア2023を開催しました スクールエコアクション活動展にご協力いただきありがとうございました

11月12日(日)、茅ヶ崎市役所にて「ちがさき環境フェア2023」を開催しました。

ちがさき環境フェアは、【未来へつなごう！環境にやさしいまち】をテーマに、未来のくらしと社会のために自分たちでできることを楽しみながら発見できるイベントです。

環境フェアでは、市民活動団体・事業者・行政による環境に関するパネル展や小中学校からご協力いただきました「スクールエコアクション活動展」、エコ体験ができるワークショップ、リサイクルコーナー、おもしろ環境教室、講演「くぼてんきさんと考える地球温暖化」など、環境に関する様々なイベントを開催しました。当日は、親子連れをはじめ、約1800人にご来場いただきました。

また、スクールエコアクション活動展は、環境フェア以外にも、11月6日(月)～11月10日(金)に市役所市民ふれあいプラザ、11月18日(土)にイオン茅ヶ崎中央店でも開催し、各学校の環境に関する取組について、多くの方にご覧いただきました。(開催のようすは4ページをご覧ください)

スクールエコアクション活動展等でご協力いただきました小中学校には心より御礼申し上げます。今後もスクールエコアクション活動展を開催しますので、是非ご協力いただけましたら幸いです。



くぼてんきさんの講演で雲をつくる実験をしました



環境教室「燃料電池実験と万華鏡作り」の様子



日本大学の学生さんたちが出展した「身近な生きものの足跡図鑑づくり」



パネル展では、市民活動団体・事業者等が環境に関する取組を来場者へ紹介しました

【スクエコ動画】今宿小学校・東海岸小学校

「スクールエコアクション」とは、茅ヶ崎市の公立小中学校で実施している環境についての学習や、環境にやさしい活動を継続的に取り組むための仕組みです。各学校では、地域特性を生かした自然観察会などの環境学習や、学校生活における省エネ・省資源に関する活動などが行われています。

各校のスクールエコアクションの取組を紹介するため、平成25年から平成30年までは、ちがさき環境フェアで「スクールエコアクション発表会」を実施し、中学生が学校生活における環境に関する取組を発表しました。令和元年からは、小学校の環境に関する取組を、市の環境政策課が取材し、まとめた「スクエコ動画」をスクールエコアクション活動展で上映しています。今年度は、今宿小学校と東海岸小学校の取組を紹介しました。

今宿小学校

今宿小学校は、4年生が地域のごみ集積所の問題について取り組む様子を紹介しました。

今宿小学校では、今宿自治会から、ごみ集積所の問題を解消するため啓発ポスターを作成してほしいという依頼を受けました。そこで、4年生が、今宿自治会の方から直接、地域のごみ集積所について、ペットボトル・びん・かんなどの正しいごみの出し方について、話を聞きました。

そして、環境事業センターへ行って、センターの人の話を聞き、ごみの処理を間近で見学しました。その帰りには、地域のごみ集積所へ実際の状況を見に行きました。

教えてもらったことや見学したことを参考に、どんなポスターを作成するかについて、クラスで話し合い、地域の人に伝えたいこととして、「黄色の指定袋に入れて」、「ごみを減らそう」、「リサイクル分別」、「油の出し方」、「人任せにしない」という意見がでました。

実際ポスターを作成する際は、下書きをして、文字と絵のバランスも考えました。

作成されたポスターは、今宿自治会の方に渡して、現在地域のごみ集積所に貼られています。

子どもたちに、環境事業センターに行った感想を聞いたところ、「有料袋になったことで、分別する人が増えたことに驚いた」と答えてくれました。また、ごみ集積所を見て思ったことを聞くと、「もえるごみの日に、もえないごみを出す人がいると、ごみを回収する人が困ってしまうと思います」と答えてくれました。「みんなにごみをどう出してほしい?」といった質問には、「ごみを回収する人たちが気持ちよくできるように、分別や週に1回だけといった心がけをして、ごみを出してくれると嬉しい」と答えてくれました。



地域のごみ集積所に貼られた啓発ポスター

東海岸小学校

東海岸小学校は、4年生が「ECOLOSEA(エコロシー)～海を通じて私たちにできること～」をテーマに身近な海を守る取り組みを紹介しました。

子どもたちは、環境について学習していく中で、身近な海を守るために、自分たちにできることを考えました。まず、今の海の現状を知るため、学校の近くの海に行き、海岸の調査やごみ拾いを行いました。そして、海には様々なごみが落ちていることに気づきました。そこで、1組は、海を守る啓発ポスターを作って貼ることにしました。ポスターをどこに貼ればよいかをクラスで話し合い、身近な場所や観光に来る人を想定した場所など、たくさんの意見が出ました。実際ポスターを貼らせてもらえるかも、自分たちで交渉をし、茅ヶ崎駅や海の掲示板、コミュニティバスやホテル、お店などたくさんの場所に掲示してもらえることになりました。2組は、啓発ポスターのデザインについて、実際行動に移してくれるにはどうすればよいかアイデアを発表しました。マンガ形式にする、魚の気持ちを書く、具体的にどうすればよいか書くといったアイデアがありました。発表の中では、SDGsについても学んでいました。3組は、海岸で拾ったプラスチックで、アートポスターを作成しました。マイクロプラスチックを使ったりして、細かな作業でしたが、クラスの仲間と協力して、楽しみながら取り組んでいました。4組は、近くの海と世界の海の現状を知り、広い視野で海の問題を捉えていました。

子どもたちに、海でごみを拾った感想を聞いたところ、「心がきれいになりました」、「これからも海に遊びに行ったときに拾いたい」と答えてくれました。また、今後、身近な海が今後どうなってほしいか聞いたところ、「茅ヶ崎はひとつの観光地として、みんなに来てもらえるうつくしい海にしたいです!」、「たくさんの人が、生きものたちが苦しんでいることを知って、行動に移してくれると、とてもうれしいです」と答えてくれました。



学校近くの海岸で拾ったプラスチックで作成したアートポスター



スクールエコアクション活動展

今年度のスクールエコアクション活動展は3回開催し、多くの方に、学校と子供たちの環境に関する取り組みについて、ご覧いただくことができました。

学校から配っていただいた活動展のお知らせをご覧になり、親子でご来場いただいた方もいました。作品をご覧になった方からは、「小学生でいろんな環境の活動をやっていてすごいと思った。」、「子どもたちが色々工夫していて素晴らしい。」「どの小学校も、分かりやすく説明されており、画像を上手にを使って、視覚的にも訴えるものがあり、とても良い取り組みだと感じた。これからも、継続して活動を続けて欲しい。」などの感想をいただきました。

11/6(月)~10(金)
@市民ふれあいプラザ
(市役所1階)

140インチモニターで
スクエコ動画も
上映しました



11/12(日)環境フェア
@市民ふれあいプラザ
(市役所1階)

環境フェアに
ご来場いただいた方に
ご覧いただきました



11/18(土)
@イオン茅ヶ崎中央店
催事スペース

イオンへお買い物に
来られた方など、
約300人に
ご覧いただきました



【環境に関する作品や資料を出展いただいた学校】

松浪小学校(「みんなが過ごしやすい町、松浪」をテーマに取り組んだ活動のまとめ)／梅田小学校(環境の出前授業のまとめと、外来種の啓発ポスター)／香川小学校(卵の殻を原料としたエコプランターでアサガオを育てた取組の写真)／小和田小学校(「海をきれいにする」「プラスチックの量を減らす」ための提案とまとめ)／東海岸小学校(海で拾ったプラスチックで制作したアートポスター)／第一中学校(省エネのプラカード)／鶴が台中学校(省エネのポスター)／北陽中学校(SDGsのポスター)／中島中学校(SDGsに関する学習のレポート)／円蔵中学校(千ノ川調査と駒寄川観察のまとめ)／赤羽根中学校(ペットボトルキャップ運動の活動レポート)